

別紙

ダイキョーニシカワ株式会社八本松工場温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

ダイキョーニシカワ株式会社 八本松工場

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市八本松町原175-1

(3) 業種

輸送機械器具用プラスチック製品製造業 (1832)

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成19年度を基準とし平成24年度から平成30年度までの7年間とする。

3 計画の基本的な方向

環境理念

「我社は全員参加で、徹底した環境保全活動を継続的に行い、
人・社会・地球にやさしい企業になります。」

環境方針

1. 企業活動が環境に与える影響を把握し、環境目的・目標を定め、定期的な見直しを行うとともに、環境マネジメントシステムにより継続的改善を図り、汚染の予防に努めます。
2. 企業活動、製造及びサービスの環境に与える影響の中で、特に以下の項目について、優先的に活動し、徹底したロス低減と環境改善に取り組みます。
 - ・ 廃棄物の削減とリサイクル化
 - ・ 省資源、省エネルギーの推進
 - ・ 環境負荷物質の管理・低減
3. 環境に関連した法規則およびその他の要求事項を順守します。
4. この環境方針は、文書化し、当社のために働く全ての人に周知し、実行し、維持します。
5. この環境方針は、社外に公表します。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成19年度	直近年度 平成23年度
二酸化炭素	燃料の使用	3,439	4,495	4,701
	他人から供給された電気の使用	16,729	18,434	15,407
合 計		20,168	22,929	20,108

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
二酸化炭素				
合 計				

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
メタン				
一酸化二窒素				
HFC PFC SF ₆				
合 計				

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)	削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				
非エネルギー起源CO ₂				
メタン				
一酸化二窒素				
フロン類				
温室効果ガス 実排出量総計				
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方				

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：設備稼働時間の合計

単位：排出量 (t-CO₂)，原単位置量 (稼働時間千時間)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成19年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成30年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	22,929	248	92.46	11%	20,177	248	82.29
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量	22,929	248	92.46	11%	20,177	248	82.29
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)							
目標設定の考え方	エネルギー起源CO ₂ は、原単位ベース年1%の削減率						

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	電気原単位の低減	電気の原単位を1%低減/年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冷暖房温度の適正管理 ・ 高効率照明器具の採用 ・ 高効率変圧器の採用 ・ 高効率空調機の採用
2	燃料原単位の低減	燃料の原単位を1%低減/年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高効率ボイラーの採用 ・ 吸気温度の適正な管理
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

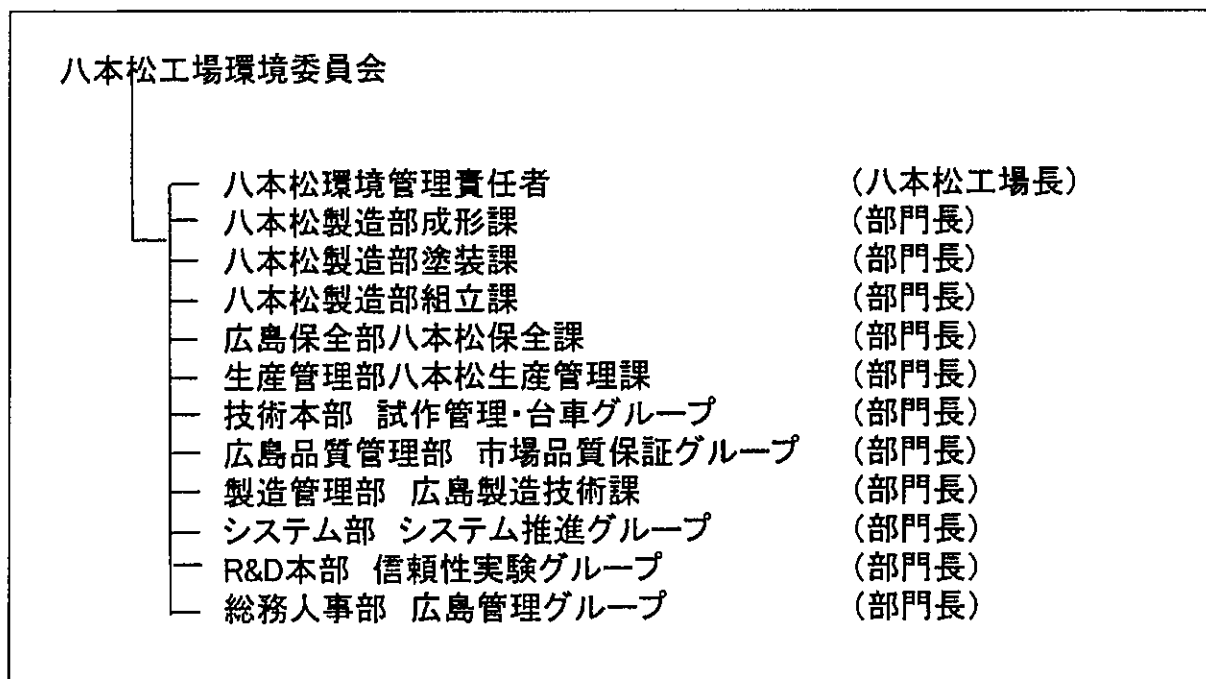
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	一般廃棄物の削減	前年度比10%削減	・ 分別収集リサイクル
2	廃プラ廃棄物の削減	前年度比10%削減	・ 規格外品・ランナーのリサイクル
3	不良ロス低減活動	部門別に設定	・ サークル活動の推進

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

管理グループ及び八本松保全課を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取組状況の把握・点検及び問題点の検討を行い、八本松工場環境委員会（毎月）及び全社環境委員会（年一回）において、定期的に評価・見直し等を行い、継続的な向上を図る。

また、毎年度の取組状況、点検・評価内容等については、計画書とともに公表する。

(3) 計画書等の公表

事業所に備え付けて閲覧する。